



一般社団法人
日本ヘルスケア歯科学会

事務局 東京都文京区関口1-45-15-104

☎ 03-5227-3716 Fax 03-3260-4906

URL <https://www.healthcare.gr.jp>

E-mail: center@healthcare.gr.jp

編集代表 林 浩司

編集制作 有限会社 秋 編集事務所

	年会費	入会金
歯科医師	12,000円	5,000円
スタッフ/その他	3,000円	3,000円
郵便振替口座	00190-7-407895	
名義	一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会	
銀行振込口座	三菱UFJ銀行 江戸川橋支店 普 0051809	
名義	一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会	



CONTENTS

巻頭 ヘルスケアは、「患者も含めたチーム医療（総合診療）」 p.1	東京ワンデーセミナー案内 p.11
事務局から/オンラインサロン紹介 p.2	マー君の enjoy my life p.12
令和6年能登半島地震 義捐金受付のご案内 p.3	復活!! The HyG Times / ウェビナー告知板 p.13
ヘルスケア歯科診療について藤木が伝えたいこと 2024 p.4	ウェビナー報告 p.14
書評 p.5	ヘルスケア・フォーラム p.15
HCM2023 後日譚 プレゼンを終えて p.6	コミュニケーションセミナー 案内 p.17
口腔内規格写真 PerfectMaster Vimeo 案内/告知板 p.8	永年会員表彰/ Healthcare bibliography p.18
根面う蝕の ICDAS フォトパネルが完成しました p.9	歯科衛生士新人初期研修/歯科衛生士更新ポイント 案内 p.19
フォーラム【ヘルスケアと赤ちゃん歯科】14 p.10	ヘルスケアミーティング 2024 案内 p.20
院内の重要データバックアップについて p.11	認証ミーティング 案内 p.20

催しものご案内

① スプリングセミナー

日時：2024年3月10日(日) 13:30
場所：A P 浜松町& Zoom
オピニオンメンバー会議併催

② 新オンラインサロン

日時：2024年3月12日(火)
日時：2024年4月9日(火)

③ ヘルスケア Web セミナー

日時：2024年3月20日、4月17日
内容：コミュニケーションセミナー
プレミーティング in オンライン

④ 東京ワンデーセミナー 2024

日時：2024年5月19日(日)
場所：日本歯科大学 東京キャンパス

⑤ 歯科衛生士新人初期研修 2024

日時：2024年5月21日(火) ~

⑥ 大阪ワンデーセミナー 2024

日時：2024年9月1日(日)
場所：大阪歯科大学 100周年記念会館

重要なお案内

● 以下の同封物をご確認ください

- 2024年度ステッカー
2024年度会費納入済みの方に同封。
- 2024年度会費振込用紙
2024年度会費未納の方に同封。
- 日本ヘルスケア歯科学会誌
vol.24 no.1
- 口腔内規格写真 Vimeo 案内
- Vimeo 割引クーポン
- 東京ワンデーセミナー 2024 案内



ヘルスケアは、「患者も含めたチーム医療（総合診療）」

高橋 啓 (日本ヘルスケア歯科学会代表)

2024年のスタートから能登半島地震が起こり、波乱の年頭となりました。令和6年能登半島地震に被災されたみなさまに、心よりお見舞い申し上げます。

本会へのご要望やお役に立てることがございましたら、事務局までお知らせください。被災地域の方は、最大限の注意を払い、二次災害にあわれぬようにしてください。またみなさんのお知り合いで、被災されている会員の方がおりましたら、事務局までお知らせください。

さて、みなさんは、「ヘルスケアは、患者も含めたチーム医療」と聞いて、どう思いますか？「それは当たり前でしょ」と思う人もいるかもしれませんが、「ん？」と思う人もいるかもしれません。漠然と思っていることを少し整理してみたいと思います。このようなお話をするきっかけは、2023年7月9日に開催された認証ミーティングです。このときに外部審査員の森田夏実さんからのご指摘がありました。「チーム医療の模式図の中に、患者が入っていません。

患者も含めたチーム医療を実践しているならば、チーム医療のメンバーに患者が抜けることはないのでは？」というものでした。そのときに会場にいた人は、ハッとさせられたのではないかと思います。わかっているけど、体现できていないこと、常に意識ができていないことになっていたかもしれません。そこで常に意識しておくことの大切さを学ぶ機会となりました。

ヘルスケア診療とチーム医療

ヘルスケア診療においては、チーム医療が大切と常々伝えてきます。診療所単位での認証にこだわるのも、チーム医療を確立するためのものです。そもそもヘルスケア診療は、分業制でそれぞれ丸投げではなく、連携して医院みんなで診ていくチーム医療の大切さを説いてきました。そうしたことを普段からやっていることがヘルスケアのチーム医療であるはずで

もっと具体的などころを言うならば

- ・ 歯科医師と歯科衛生士は、別々の予約で動いているので、チーム連携が必要。
- ・ 歯科医師担当制、歯科衛生士担当制もあり、複数の予約を管理する受付や歯科助手とも連携が必要。

などが挙げられます。

上記のことは、みなさんが日常でやっていることです。そして、定期管理を通して、患者とコミュニケーションが取れることも、ヘルスケア診療の特徴かと思えます。医療の他現場で、スタッフと患者のコミュニケーションが我々ほど取れているところはあまり見当たりません。そもそも、内科に定期的通院して、担当看護師が1時間対応するようなことはないためです。それゆえ、コミュニケーションの質が変わってくるのです。ヘルスケア診療は、チーム医療のお手本になり得ると思えます。

- ・ メインテナンスを通じた強い信頼関係が構築されている。
- ・ 家族単位で知っていることも多いので、よりきめ細やかな対応ができる。
- ・ 元気な頃を知っているため、高齢への変化が分かっている。(子どもの頃から知っているということも)

このような素晴らしさを日常で行っているのです。これは他科からすると、「とてもすごいことをやっているね」と言われることでもあります。

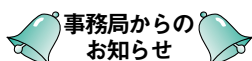
「患者も含めたチーム医療」を常に意識しよう

チーム医療の分野では、「患者も含めたチーム医療」を全員で常に意識することが言われています。ヘルスケア診療を実践する我々も、ぜひ意識しながら前に進みましょう。普段から、患者の意見も取り入れながら、診療を進めていると思うのですが、「患者も含めたチーム医療」をより意識してください。ただ、患者は表在的な希望を伝えがちです。我々は短期的な視点と長期的な視点を持って、その人の患者利益が共有できるような関係を構築できればと思います。

「患者も含めたチーム医療」という観点は、我々にとって日常で、とくに何が？ ということがらではありますが、客観的に医療の世界、介護の世界を見渡すと、ほかにはないものです。そこは、今後もレベルを高めていけたら素晴らしいことです。

最後になりましたが、今年のヘルスケアミーティング 2024 は、10月13日(日)・14日(月祝)に一橋大学一橋講堂(学術総合センター)で開催されます。今年とはくに、医院みんなで参加して勉強になるような企画を進めています。今から医院の予定に入れてもらえると嬉しいかぎりです。よろしく願います。

今年も頑張っていきましょう！



学会誌(第24巻第1号) 刊行

このニュースレターに『日本ヘルスケア歯科学会誌』を同封しております。同封されていない方は、事務局までご連絡をお願いします。

お詫びと訂正

ニュースレター (Vol.26 no.5 p.3) に下記の間違いがありました。訂正しますとともにお詫び申し上げます。

- 誤：宇多川歯科医院 宇多川義朗さん
- 正：宇田川歯科医院 宇田川義朗さん



○ 2024年3月12日(火) 20:30 ~ 「K-wave の魅力と活動を紹介します！」

K-wave は神戸を拠点に活動するヘルスケア地方会です。地元で小規模に始まったものの、SNS コミュニティーでは110名以上の登録者を有し、参加者は全国に広がっています。コロナ以降、活動は主にオンラインへ移行しましたが、昨年からは歯科衛生士向けの実践的な教育企画も展開しています。

今回のサロンは、K-wave のセミナーやウェビナーの運営効率化、これまでの実績、UP-SRP の学べるセミナーを含めた今後の計画などを話題にし、地方会の魅力を皆さんとディスカッションしたいと思えます。地方会を運営されている方、地方会に参加されている方、そうでない方もぜひお待ちしております！(中本知之)

令和6年能登半島地震 義捐金受付のご案内

高橋 啓 日本ヘルスケア歯科学会 代表

令和6年能登半島地震に被災されたみなさまに、心よりお見舞い申し上げます。

被災地の一日も早い復旧を心からお祈り申し上げます。

当学会では、被害が甚大だと思われる、石川県珠洲市カーム歯科医院 中谷さんへの義捐金を受付しております。

学会ホームページのトップページに義捐金受付のリンクを設置しました。ペイパル決済にて1口3,000円より申し受けます。(2024年3月末日まで)

<https://healthcare.gr.jp/>

※義捐金詐欺が増えています。ご注意ください。

当学会では石川県・富山県・新潟県の会員様にメールやハガキにて安否確認のご連絡をさしあげました。以下ご連絡の取れた会員様からの情報です。

当診療所も海拔0メートル地帯なので、今後大きな揺れがあった場合はひたひたと来るかもしれません。スタッフに西区在住の者があり、液状化の被害にあいましたが、みな無事です。

●富山県氷見市 新谷歯科医院 新谷明宏さんより

(1月18日現在)

お見舞いのハガキ、ありがとうございます。

診療所や自宅の被害は少なく、1月5日より通常通りに診療しています。氷見市では被害の大きな地域があり、ようやく昨日断水地区がなくなりましたが(1月18日現在)まだまだ復興まで大変な状況です。

ストレスからか、歯痛で来られる急患が多く、心のケアも必要だと感じています。これからもよろしく願い致します。

●新潟県新潟市 諸見里歯科医院 諸見里善次さんより

(1月18日現在)

お見舞いのハガキ、ありがとうございます。

診療所の中央区は被害は少なく、通常通り診療しておりますが西区は液状化現象で家屋の傾きがある場所もあります。

●石川県珠洲市 カーム歯科医院 中谷静子さんより

(1月25日現在)

無事です。避難所には行っておらず、在宅避難をしています。

診療所兼自宅の建物については、被害は軽微です(少し内陸のため津波の被害はありません)が建物内の家財が散乱しており、電気は通っているものの、断水が続いているため被災以降休診しております。

断水が解消されれば診療を再開したいのですが、スタッフは避難所生活になっており、器材の破損状態も確認できておりませんので、いつ再開できるか…といった状態です。

ご心配をおかけして申し訳ありません。くれぐれもよろしくお伝えください。

□ 避難所等での口のお口のケアや歯科治療に関する情報は、

「災害時高齢者医療 参考サイト」一般社団法人 日本老年歯科医学会より

<http://www.gerodontology.jp/info/000998.shtml>

「災害時のお口(くち)のお手入れについて」厚生労働省より

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000122257.html>

「一般救護者用 災害時高齢者医療マニュアル 歯科疾患」社団法人 日本老年医学会より

<https://www.jpn-geriat-soc.or.jp/saigaisien/pdf/manual.pdf>

オピニオンメンバー会議(第7期第3回)

2024年3月10日(日) 10:00～

AP 浜松町(東京)とZoom オンライン

今後の予定 3月上旬 議案書発送予定

☆併催 スプリングセミナー 13:30～

講演テーマ

う蝕活性試験: CAT21 テストの開発から臨床応用
—これからの展望

講師: 下野 勉(岡山大学名誉教授)

※お申し込みはホームページから



ヘルスケア歯科診療について藤木が伝えたいこと 2024

ウステリアの誕生と私が使い続けている理由について



藤木省三（神戸市開業）

はじめに

「どうしてウステリアにデータを入れなければならないのですか？」という質問を今までに何度も受けました。私にとってはとても不思議な質問です。なぜなら、「データを入れなければならない」と思ったことは一度もなく、「知りたいことがあるからデータを入れておこう」とずっと思ってきたからです。今年は、そのような私の経験をお話してみたいと思います。

その 1 ウステリア誕生前から誕生まで

第1回はウステリアの誕生前のお話をします。今から約35年ほど前の話なので、読んでいる人のなかにはまだ生まれていなかった人もおられるかもしれませんね。

〈ウステリア誕生前〉

ウステリアが生まれる約10年前に、熊谷崇先生から「Macintoshを使って歯科のデータ管理をするためのソフトを作ってほしい」と依頼がありました。そこで、趣味でNECのパソコンのデータベースソフトで遊んでいたのを活かして、MacintoshとデータベースソフトのFileMaker®IIを使って歯周治療に関するデータを入力するソフトを作りました（図1, 2）。このときに熊谷先生からデータベースソフト作成を依頼されたことでその後の歯科医師人生が豊かになり、今から思うと本当に幸運なことでした。

その後、1992年頃からフォーラム DEWA でカリオロジーの勉強が始まり、サリバテストの結果も入力ができるように進化していきます（図3）。図4は初診時のデータを入力する画面ですが、すでに現在のウステリアと同じような雰囲気になっています。1990年代前半には、私たちはすでに歯周炎における喫煙の影響について理解していたので、現在でも使われている喫煙本数を記録するフィールドも作られています。また、当時からデータを入力できるだけでなく、年齢や歯周病の重症度に分けて検索や集計も今と同じようにできました（図5）。ソフトの基本的な考え方は当時から現在まで変わりありません。

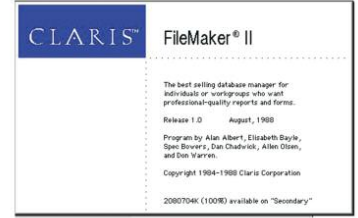


図1 Macintosh と FileMaker® II

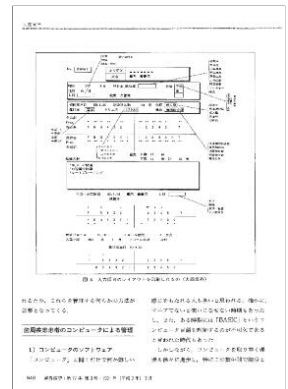
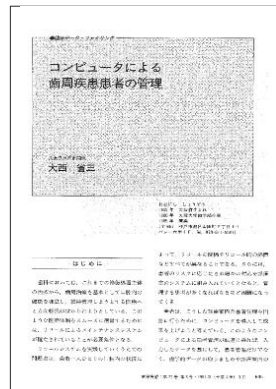


図2 1991年 歯界展望 3月号



図3 1997年 歯界展望 2月号



図8 ソフトを立ちあげると最初にメニュー画面が見られる。ここからさまざまな仕事を選択する



図9 個々の患者のデータの入力画面



図10 入力できるだけ簡単にを行うため、ほとんどの項目はポップアップリストから値を選択できるようにしている

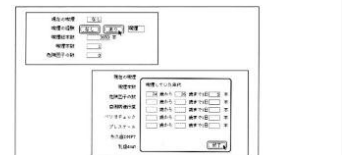


図11 喫煙項目は、小児や非喫煙者は「なし」をクリックする。喫煙者は「あり」をクリックすれば喫煙経験入力画面に切り替わる

図4 喫煙本数計算画面は、今のウステリアにも引き継がれている

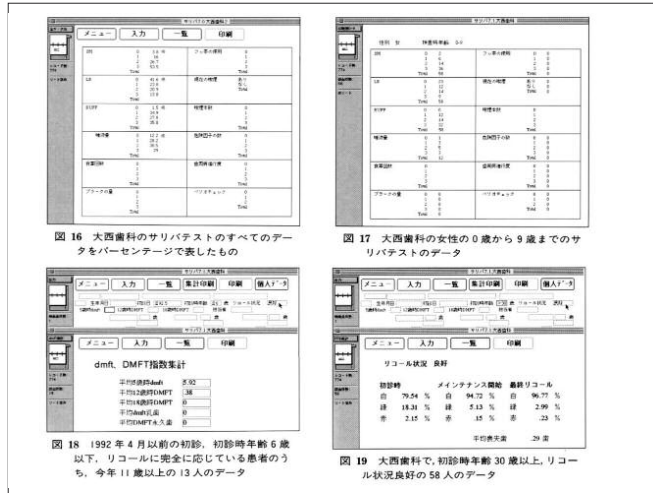


図 5 検索や集計もできるように作られている

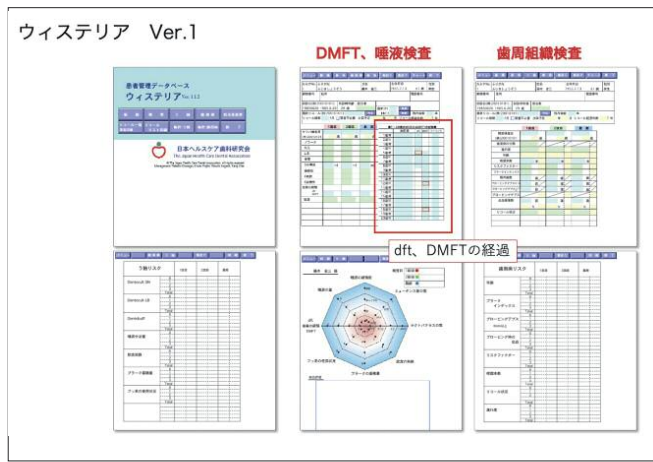


図 6 ウィステリア ver.1

〈ウィステリア誕生〉

1998年に日本ヘルスケア歯科研究会が設立され、それまで作っていたデータベースソフトに「ウィステリア」という名前が付けられました。ウィステリアの誕生です(図6)。

Ver.1では、残存歯、DMFT、歯周組織検査の値、サリバテストの結果などが入力、集計できるようになっています。このソフトを使うことで、サリバテストの時間軸での変化、歯周治療や定期的な健診による歯周治療やう蝕予防などの結果を知ることができました。

次回から私がウィステリアを使っている理由を具体的な例を示しながらお伝えしていきます。



書評

ちょっと深掘り！ 予防の科学 う蝕・酸蝕・歯石と歯周疾患

著；中嶋省志
出版；医歯薬出版刊
2023年12月
定価；5,280円(税込)

中嶋省志先生とはじめてお会いしたのは、2014年にドイツのベルリンから電車で2時間ほどのGreifswaldのORCAでした。先生は化学を専攻されて、ライオンで歯磨剤の仕事の関わりながら、う蝕

の国際学会に数多く参加されてきました。脱灰再石灰化、酸蝕、歯石についてなどに詳しく、私がわからないことを尋ねると、ご自分の研究、論文で得た知識や学会での議論の経験などをふまつつ論理的に、ときには化学反応式を用いて教えていただいています。

この本では、脱灰再石灰化、酸蝕、歯石と歯周病の関係などについて、どうしてそのような現象がおきるかについて、研究論文をベースに詳しく、また、理解しやすく解説しています。たとえば、エナメル質う蝕の表層下脱灰について定説はないこと、そして4つの説について解説しています。酸蝕については、pH3.8くらいのヨーグルトがなぜ酸蝕を起こさないか、歯石が沈着しやすい人の唾液中の成分の違いなど興味深いことを取り上げ



て「ちょっと深掘り解説」をしています。専門家として、一般の人や患者さんへ説明するためには、これらのことをきちんと理解しておくとても信頼される話ができると思います。多くの歯科関係者に読んでいただきたい本として推薦します。(杉山精一・八千代市開業)



ヘルスケアミーティング 2023 後日譚

プレゼンを終えて

佐藤千恵子（歯科衛生士・わたなべ歯科）



聞いてくださった方々、応援してくださった方々、そして、貴重な機会を作ってくくださったヘルスケア歯科学会には、心から感謝いたします。終了後も、たくさんの方が質問に来てくださったり、アドバイスをいただいたり、他の登壇された方々が、私のプレゼン内容を引用してくれたことも、とてもありがたかったです。

院長からは、常にプレゼンの目的は「聴衆の行動変容」と教えられていますので、一定の目的は果たせたかと思っています。

アドバイスで一番多かったのが、「失敗症例や、複数の症例を出してほしい」でした。これについて、わたなべ歯科での、知見をお伝えさせていただきます。

コミュニケーションにおいて、「成功」「失敗」という概念は常に変動していくもので、一喜一憂するものではないと、考えています（短期的にはあるかもしれませんが）。そもそも「成功」と考えている時点で、我々が「正解」を持っていて、その通りになった状態を指していると思われまます。当院では、それを「依存」と呼んでいます。

逆に失敗とは、患者さんが自立している状態を指しているかもしれません。我々が正解を持っているのではなく、患者さん自身が、「なりたい像を明確にして、そこに到達するお手伝いをする」そんな感覚で接しています。

私たち自身も、なりたい像を明確にすることは、時間がかかります。まだあやふやなメンバーもいます。自分の本当の願望を明確にするには、それなりの技術と時間が必要だからです。自分のことですら大変なのですから、他人の願望を引き出すのは、

- ・本当にゴールがあるのか？ 導けるのか？
- ・たとえ出てきたように見えても、本当に心から欲している成りたい像なのか？

など、本当の答えは誰にもわからないのかもしれませんが、そんな状態だと、たとえ相手の願望を聞けたっ！と思えたとしても、「成功」などというのは、おこがましいと考えます。「聴く」をテーマにして臨床では接していますが、「聴けた」と思えたことはありません。目標としているのは、「聴けた」という自分たちの満足感

ではなく、患者さんが「伝えられた、聴いてもらった」と感じることです。そう感じた患者さんからのサインとして、「そうそう！」や「そうなんです！」という言葉があげられます。そのサインが表出し、関係性ができたときこそ、こちらから伝えたいことが伝えられるタイミングであると考えています。短期間でみた場合は、失敗と捉えられる方もいるかもしれません。この状態をわたなべ歯科では、「nice try!」と表現しています。

実際に、メンテナンスでは何をしていますか？の質問も多数いただきました。これ、本当に千差万別です。歯科衛生士との会話によって安心を求めている方、爽快感を求めている方、状態の変化を知りたい方、様々です。必ず行うことは、「問診」と「検査」です。OHI や PMTC をルーティンにやることはありません。院長は症例検討会で、「磨きたいという意思もなく、磨ける技術もない人の PMTC をして、3 ヶ月後に呼んでなんの意味があるの？」と、話していたこともありまました。そしてその際、院長から、理想のメンテナンスとして、ある歯科医院の事例を紹介してもらいました。患者さんが入室し、担当歯科衛生士と世間話をし、一息ついたときに、ユニットを倒して口腔内を診察。そして「〇〇さん綺麗ですねー」それに対して、患者さんが「でしょー」と言って、おしまい。自費の会計を済ませて、次回の予約を取っていったそうです。本当の意味で、患者さんが自分の役割を認識し、医療機関側は、専門家として、口腔内を評価する。残念ながら、当院では、ここまでの状態になっているケースはまだありませんが、追い求め続け、こちらが諦めない限り、必ず達成はできると考え、日々試行錯誤しながらチーム一丸となり研鑽しています。

わたなべ歯科で、講演の機会をいただけたとき、考えることは、「これを受けたときに誰が一番成長に繋げられるか？」です。今回、プレゼンをさせていただき、自分の臨床を見直し、言語化することで、自分の成長に繋げることができました。これからも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

佐藤千恵子さんのプレゼン後感について

ちょっとした手違いで、ヘルスケアミーティング 1 日目のプレゼンテーションを務めた佐藤千恵子さんのニュースレターへの投稿掲載が、1 回遅れになってしまいました。掲載にあたって読み返すと、なかなか深い問題提起をされています。そこで、オピニオンメンバーの歯科衛生士全員（12 人）にお声かけしてご意見をお聞きする機会をもちました。（お応えいただいたのは少数ですが）そこで出た意見を元に、佐藤さんの問題提起を深掘りしてみたいと思います。（秋元秀俊）

○ 景山正登さんを招いた意図

このシンポジウムは、「チェアサイドで実践するカリエスマネジメント」というテーマで、特別講演に景山正登さんを迎え、実践例として宇田川歯科医院の大嶋宏美さんとわたなべ歯科の佐藤千恵子さんが症例を示して景山さんのお話を現場の関心事として理解しようという企画でした。

本会で、カリエスマネジメントと言えば、杉山精一さんが ICDAS の紹介から CRASP の考案まで、一貫してリードしてこられたテーマです。そこになぜ、退会された景山さんを招いてお話を聞こうと言うのか、ちょっとひっかかりましたが、企画者たちは、景山さんは Prof. B. Nyvat 同様に、“lesion activity” すなわち「活動性」について新しい視点を提供してくださると語るのでした。そうであれば、二人の症例報告も病変の活動性をめぐる経験の報告になるのだろうと予想していました。

お二人のプレゼンは、とても興味深いものでしたが、活動性について何らかの示唆を期待していた者にとっては必ずしも十分に満足のいくものではありませんでした。おそらく、「失敗症例や、複数の症例」を求める聴衆の声は、それを反映したものであったのでしょう。

○ 我々が「正解」を持っているわけではない、という意見に賛意多い

さて、オピニオンメンバーの歯科衛生士さんに感想を伺ったところ、筆者の予想に反して、皆「佐藤さんの書いていることは、もっともだし、賛成よ」と話します。佐藤さんに疑問を呈した聴衆とは受け止め方が違うのでしょうか。どうもそうではないのです。「失敗症例や、複数の症例を出してほしい」と感想を寄せた人も、佐藤さんの意見に賛意を示すのです。

筆者は、佐藤さんが想定するように、歯科衛生士には歯科医療人特有の健康観（仮にこれを健康絶対主義と呼びます）をもつ人が多く、そこに向かって行動変容させることを是とし、そうなることを成功と考える人が少なくないだろうと思っていました。だから「もっともだし、賛成」は意外だったのです。

○ 「失敗症例や、複数の症例を出してほしい」と多くの人が感じたのは、なぜか？

歯科衛生士のお二人のプレゼンは、とても興味深いものでしたが、活動性について多くの示唆を期待していた者にとっては満足のいくものではなかったとコメントしました。それは次の理由からです。

このシンポジウム企画のもっとも注目すべきポイントは、景山さんが提起した、プラークを除去する前に「プラークを診る」という診療姿勢に注意を喚起したところでした。プラークを診て、活動性を評価して、よい結果が得られることもあれば、予想しない結果になることもあります。予測どおり活動性をコントロールできれば成功と言え、予想外に活動性が高くなりう窩を幾つもつくってしまえば失敗と言わざるを得ないでしょう。活動性に限らず、予測には、失敗や成功が付きものです。「失敗症例を出してほしい」というのは至極当然です。

○ 「検査の前に、患者を診よ」

しかし、景山さんの問題提起は「活動性の予測」ではありませんでした。ICDAS のコード判定で、プラークを除去した後にエナメル質表面を観察して病変をディテクションすること、ここでプラークを除去する手を止めて、その部位と性状とその過去との違いを注意深く観察することの提案でした。

ヘルスケア歯科学会では、かつてカリエスリスク検査を重視していました。病変のディテクションから始まる CRASP によるカリエスマネジメントは、患者さんとの対話を重視し、リスク検査やリスク判定の重みは小さくなっています。そこに更に、景山さんは「検査の前に」見落としがちなポイントを指摘したのです。検査を優先してしまうことで素通りしてしまいがちな、「患者を診よ」というメッセージだったのです。

○ なぜ、健康絶対主義のパターナリズムになるのか？

患者の主體的な姿勢を何よりも大切に、臨床においては対話を重視する佐藤さんの意見は、ヘルスケア歯科診療にとって重要な問題提起です。慢性疾患治療の先進的な医療現場では、医療者が患者を一方的に施療するという考え方は過去のものになり、医療者と患者

が対話によって治療目標を共有することが常識になっています。経験ある歯科衛生士は、健康を絶対視しません。

では、なぜ、歯科の専門家の中で、否、もっと率直に言えば「ヘルスケア歯科学会」の中で、今なお健康絶対主義の言説が優勢なのでしょう？

健康意識の高い歯科衛生士が、不健康な生活習慣をもつ患者に対して、その健康行動を変えるモチベーションを与えるというパターンリズム（父権主義）が、何のてらいもなく語られるのでしょうか？ おそらくこれは歯科衛生士の下手法演技なのでしょう。歯科衛生士は、自信がなくても、健康のプロの役割を果たさなければなりません。そのために、もっとも手軽なパターンリズムを演じてしまうのでしょう。

○ 肩の力を抜いて対話する… 自然体で演じる

熱心な歯科医も歯科衛生士も、診療室ではその専門家としての役割を演じていることに無自覚ですが、家に帰れば夫であり妻であり、父であり母であり、あるいは介護する人であったり甘える人であったりします。四六時中、歯科衛生士として誰かをモチベートしている人はいません。そんな人が、恋人だったら困ります。長く歯科衛生士として仕事を続けている人は、診療室のドアに入ったオンと、ドアを出たオフをしっかりと分けているものです。言い換えると、優れた専門家は、専門家を上手に演じます。

そのとき、どのような専門家を演じるのでしょうか？ 肩の力を抜いて患者さんと対話するなかで、自然に患者さんの健康行動がその人なりに変わっていけばいい。じつは、ここで生まれる関係性によって、患者さんのほうも、健康行動を変えようという患者の役割を演じるのかも知れません。人と人がいっしょに楽しくなる、というのと似た共感です。どうも、そういう考え方を臨床経験豊富な歯科衛生士は身に付けているようです。

常に一生懸命では、疲れてしまうでしょう。眠ろうと意識すると眠れません、意識するからだとは自然に動きません。経験豊富な歯科衛生士さんと話して、理屈ではなく、自然体で演じることの大切さを改めて思い知らされました。



口腔内規格写真

Perfect Master



パソコン・タブレット、スマートフォンに対応

いつでも・どこでも！
一人でも・グループでも！
自分のスタイルで学びが得られる！



講師：落合真理子（歯科衛生士）

口腔内規格写真撮影はヘルスケア歯科診療の基本です。診療所に新人歯科衛生士が入ると、まず、数ヶ月かけて、口腔内規格写真を撮影できるように練習すると思いますが、みなさんの診療所では実際にどのような方法で取り組んでいますか？

私の診療所では、「撮れる！活かせる！口腔内規格写真（デンタルダイヤモンド社刊）」を使い、先輩歯科衛生士が説明し、その後、診療前や空き時間を利用して相互練習を行っています。この方法は、他の診療所でも変わらないと思いますが、より効率的に、練習をするために動画の教材があるといいと思っていました。とくに、最近はスマホ動画で勉強することが一般的になっており、口腔内規格写真の解説動画作成を企画しました。

講師は落合真理子さん、患者役は蓮見 愛さん、総監督は山田美穂さん、そして撮影と編集を私が担当しました。内容は下記の14本です。

撮影部位解説は、基本ポイント解説、撮影の実際、よくある失敗例とその対策の3編で構成し、各撮影部位3～5分です。診療の空き時間などを利用して効率的にスマホで学べると思います。画質は4K（高解像度撮影）ですので、院内ミーティングやセミナーなどで大型モニターでも鮮明な画像で学ぶことができます。落合さんの解説が歯切れよく、的確ですので、この動画と本を併用することで、短期間で上達できると思います。ぜひ活用してください。（杉山精一・八千代市開業）

撮影ポジションについて（1本）

機材解説（1本）

撮影部位ごと解説（11本）

正面、右下舌側、右上口蓋側、左下舌側、左上口蓋側、右側方、左側方、上顎前歯口蓋側、上顎咬合面、下顎前歯舌側、下顎咬合面

12枚法撮影のながれ（1本）

【Vimeo】とは…

日本ヘルスケア歯科学会のオンデマンド受講では、Vimeo（ヴィメオ）という動画配信サービスを使用しております。受講される方は、お手数ですが「Vimeoの無料ユーザー登録」をお願いいたします。レンタル時のみ、料金が発生します。お支払いはペイパル・クレジットカードをご用ください。

対象：会員・非会員問わずヘルスケア歯科診療を学びたい方

受講料：シーズンレンタル（1年間見放題）10,000円

※今回、動画リリース記念として会員限定の30%割引クーポンを用意しました。このニュースレターに同封のパンフレットとあわせてご覧ください。

オピニオンメンバー会議併催 ヘルスケア・スプリングセミナー 「う蝕活性試験：CAT21 テストの開発から臨床応用—これからの展望」

日時：2024年3月10日（日）13:30～

場所：AP 浜松町 Room-C（東京） & Zoom ウェビナー

講師：下野 勉（岡山大学名誉教授）

参加対象者：会員および会員診療所スタッフ

参加費：オピニオンメンバー 無料（要登録）

会員歯科医師 5,000円 会員スタッフ 2,000円

非会員スタッフ 3,000円

※オンライン同額

申込み先：日本ヘルスケア歯科学会ホームページ

公認団体：Dr とスタッフがいっしょに参加できる兵庫ヘルスセミナー

日時：2024年5月19日（日）10:00～16:00

場所：神戸市産業振興センター会議室 901 号室

定員：100名

参加費：参加者一人につき6,000円（弁当付）

講師：杉山精一（八千代市・杉山歯科医院）

ヘルスケア歯科医院で取り組むカリエスマネジメント

阪下 卓（宝塚市・たるみ歯科クリニック）

たのむぜ！小児歯科！～小児な小児歯科医が小児歯科を語る～
藤木省三（神戸市・大西歯科医院）

SRP、キュレットでガリってどうなんだろう？

申込み：メールでお申し込みのうえ、下記振込先へお振込みください
syuhei@ydc-suma.com（山本修平）（申込みの際、クリニック名と参加者氏名、職種を記載してください）

振込先：みなと銀行月見山支店 普通 1696251 ヤマトシュウエイ

東京ワンデーセミナー 2024

日時：2024年5月19日（日）10:00～

場所：日本歯科大学 東京キャンパス 141 講堂

定員：100名

参加費：会員歯科医師 10,000円 会員その他 6,000円

非会員歯科医師 13,000円 非会員その他 9,000円

研修医 2,000円

学校関係者（教員・学生）無料・要登録

大阪ワンデーセミナー 2024

日時：2024年9月1日（日）

場所：大阪歯科大学 100 周年記念会館

※詳細は決まり次第、お知らせいたします。

告知板

根面う蝕の ICDAS フォトパネルが完成しました

杉山精一（日本ヘルスケア歯科学会 副代表）

ICDAS フォトパネル（頒布品名：むし歯／エックス線写真診査表）はすでに多くの方が使っていると思います。このフォトパネルは歯冠う蝕の ICDAS で、実は、ICDAS には、根面う蝕の Criteria (R-ICDAS) も考案されています¹⁾。高齢化社会で、私の医院でも高齢者のメンテナンスが増加しており、根面う蝕の状態をきちんと記録するための診査コードが必要だと考え、R-ICDAS フォトパネルの作成をはじめたのが 2018 年でした。この年の 2 月に ACFF 日本支部立ち上げのために Pitts 教授が来日した際に、R-ICDAS 基準にそって根面の写真を整理して、Pitts 先生に見てもらい意見をいただきました。さらに、2018 年の ORCA (コペンハーゲン) では、ICDAS のメンバーの Gail 教授に 1 時間ほど見てもらいましたが、あまり的確なコメントをいただくことはできませんでした。その後、COVID-19 のため、ORCA は Web 参加となってしまい、しばらく中断していましたが、2021 年に S. Martignon 教授 (ICDAS のカリエスマネジメント ICCMS を開業医向けに普及させるグループ Caries Care International のリーダー) らの論文²⁾ に歯冠う蝕を C-ICDAS、根面う蝕を R-ICDAS と表記している論文を見つけました。ICDAS は、多くの研究で使われていましたが、根面う蝕の ICDAS が研究で使われているのを初めて知り、今後 R-ICDAS も普及していくのではないかと考えました。

海外への渡航も自由になった 2023 年、5 年ぶりに ORCA に参加し、再び Gail 先生に修正した R-ICDAS フォトパネルを見せたところ (写真)、具体的な指摘をいただき、ORCA の期間中に写真の差し替えなどを行い確認してもらうことができました。

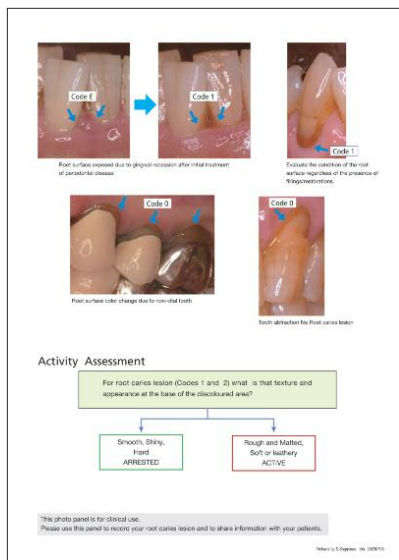
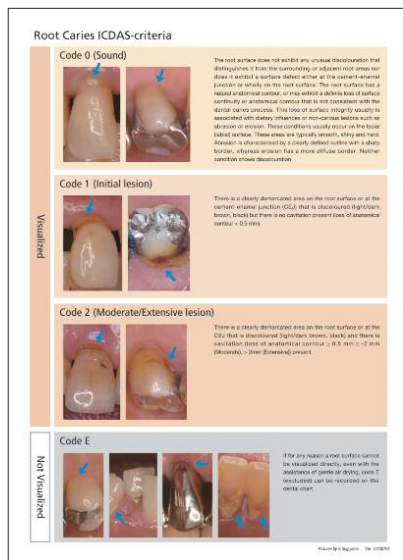


た。帰国後、秋元秀俊さんらに、数カ所の修正作業をお願いして、最終版を Gail 先生に送ったところ、問題ないと回答をいただきました。さらに、ICDAS のフォトパネルと同様に「Authorized ICDAS board member」と表記してよいと返事をいただくことができました。

実は、R-ICDAS は Code 0, 1, 2 の 3 段階で、ICDAS の 0 から 6 の 7 段階と比べて簡潔です。しかし、根面は、露出の有無、歯根面にいたる補綴物、Abrasion, Erosion などがあり、それらを基準にそって記録するには、やはりフォトパネルが必要だと考えています。

今回、ICDAS のメンバーに正式に承認された R-ICDAS の完成を機会に、これを活用したパイロット研究を行って ORCA で発表できればと思っています。また、R-ICDAS には記載がありませんが、SDF (サホライド) を適応した歯根面についての表記も私たちの学会でコンセンサスを作り公開していく必要があると考えています。

- 1) ICCMS Guide for Practitioner and Educators
<https://www.iccms-web.com/uploads/asset/592845add7ac8756944059.pdf>
- 2) Association between root/coronal caries and individual factors in institutional elderly using ICDAS severity and activity
BMC Oral Health. 2021 Mar 23;21(1): 146. doi: 10.1186/s12903-021-01520-4.



フォーラム【ヘルスケアと赤ちゃん歯科】 ウェル baby イング

【当院の赤ちゃん歯科の取り組みとその変化】

仲井真 縁（わたなべ歯科）

赤ちゃん歯科をどう診療に組み込んでいるのか？

赤ちゃん歯科を今後取り組んでいきたいとお考えの先生方からよくいただくご質問であり、このページに目を留めてくださった方に少しでも興味を持っていただけならと思い、今回は【わたなべ歯科流の赤ちゃん歯科の取り組み】を寄稿いたします。

赤ちゃん歯科にはさまざまなスタイルがありますので、医院によってやり方はさまざまですが、当院では【赤ちゃん相談会】という時間を設け、初回は小児メンテを行えば無料（1回30分）、2回目以降は30分2,000円をいただきお話しをおうかがいしたり、アドバイスを行っています。

相談会をスタートさせた当初は、赤ちゃん歯科という言葉が耳慣れないこともあったか、有料はおろか、無料をも断られる来院者さんも多くみられました。

今思い返せば、ネーミングがよくなかったのか、「相談というほど大きな問題でないといけないのか」「何か注意をされるのかもしれない」といった、養育者の不安や相談会の意図するところをきちんと伝えきれていなかったことが原因だったと考えています。これから取り組まれる方は、よければ参考になさってください（笑）。

赤ちゃん相談会が鳴かず飛ばずの保育士である私たちの仕事は、託児や院内の

掲示物を作成する時間がほとんどだったものの、このままでは赤ちゃん歯科を普及させることができないと考え、仕事の傍ら、近隣の保育園や産婦人科に『赤ちゃん歯科の概要』と、『それをお話する機会をいただきたい』という旨を記した手紙を送付したり、簡単に赤ちゃん歯科がわかる冊子の作成を行ってきました。

地道な努力と、それを後押ししてくださる先生方のお力添えをいただいた結果、保育園や産婦人科の事業所内保育室での予防教室を開催し、オンラインで連続セミナーを開催するまでに至りました。

ときを同じくして、院内でも赤ちゃん相談会を受け入れる方も増え、有料相談を希望する方は月平均で7～10名程に増加してきています。

また、ここ数年では「わたなべ歯科では歯がないときから、お口の中だけではなく、発達や離乳食の相談にも応じてくれるそうだ」というママ友同士の口コミが広がり、広告費は0円で何十人もの来院に繋げることもできました。

コロナ禍による、相次いで起こった離乳食教室の中止や、実家にすら帰ることができないといった閉塞的な環境が起こす育児不安と、医療機関が行う育児支援がマッチしたタイミングともいえるかもしれません。

相談の内容は先にも述べたような、離乳食教室の中止による進め方の不安や、離乳食トラブルへの対応方法を求められることはもちろん、まだ歯も生えぬ我が子のむし歯や歯並びを憂う養育者や、我が子の痼疾に耐えかね相談に訪れる母とその実母の姿もあり、相談内容は多岐にわたりました。

口腔の発達は、当然ですがその子自身の発達とともにあるため、口腔内だけでなく、その子の生活習慣や置かれる環境、またその子自身の個性を俯瞰的に捉える必要があると考えています。

身体の発達だけではなく、乳幼児期における心理的発達面やそれに伴うリスクを念頭においたうえで、親と子それぞれの個性に合わせたアドバイスをしていくことが、結果として生活の基盤を作り、その生活こそがその子の身体やお口を作っていく。

赤ちゃん歯科はそんな地道な働きかけの積み重ねだと感じています。

来院したその日、まさに『子ども用の野菜ジュース』を飲ませ始めようと思っていた方や、妊娠中にメンテナンスを受け、たまたま赤ちゃん相談会を受けた際に、「赤ちゃんのうちからお菓子をあげないといけないうちかと思っていた」と驚かれた妊婦さん。

私たちの当たり前と、歯科医療に従事していない人たちの当たり前との間にある隔たりはとて大きなものであると痛感する毎日です。

生活習慣は定着してしまうと、それを変化させることがとても困難であることは、もう誰もが一度は自身で経験していることではないでしょうか。

我々にできることは、少しでも多くの方に、それもできうることならば生活習慣が定着してしまうその前に、情報をそれぞれの置かれる環境にカスタムしてアドバイスし、それを実現しやすいかたちにまで一緒に考えていくことではないかと考えています。

フォーラム内では、こうした正解のない赤ちゃん歯科という旅をみんなで楽しんでいきます。

すべては健康を守り育てるために。

私たちができることを、一緒に始めてみませんか？ 歯科と名のつく職業ではない私も楽しく参加しています。

ぜひ、お気軽にフォーラムに遊びにいらしてください。

★月1回21時からZoomミーティングを行っています。



院内の重要データバックアップについて



森 一弘 (学会認定ウイステリアサポート技術者 アクセス代表)

☆アクセス

〒 842-0033

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町豆田 2103-13

TEL. 0952-51-1776 ・ FAX. 0952-51-1767

携帯 090-1920-7894

URL <https://www.access-dental.jp/>

URL <http://www.access-pcdoc.jp>

E-mail kazu@access-pcdoc.com

2024年1月1日、能登半島地震が発生しました。犠牲になられた方々、被災された方々にお悔やみ申し上げるとともに、1日も早く復旧が進むことを願います。

このような大きな自然災害は、いつ誰の元に訪れるか予測もつきません。今回はそういった不測の事態にも対応できる「院内の重要データバックアップ」についてご提案したいと思います。

院内の重要データといえば、レセコン、X-Ray、口腔内写真、マイクロ映像、各種患者管理ソフト、電子サブカルテ、などなどなくなると困るデータだと思います。スタンダードな方法として、各メーカーがUSB接続の外付けハードディスクに自動バックアップ設定しているパターンが一番多いのではないかと思います。

さて、ここで、まだ記憶に新しい今回の能登半島地震の被害状況を思い起こしてください。家屋の倒壊、火災、津波が連日報道されていました。この場合、USB接続の外付けハードディスクのバックアップでは、本体の元データともども壊されてしまう可能性が高いです。

特に火災や水没は、データ復旧できない可能性が非常に高く

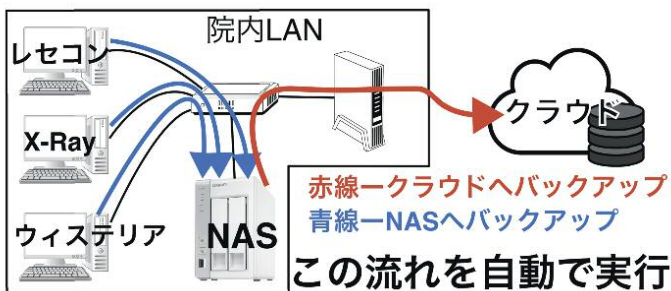
なります。もちろんこれは、かなり稀なケースだとは思いますが、そのまさかの事態に備えるのが、より安全なバックアップということになるでしょう。

そこで、提案したいのが、NAS（ネットワークハードディスク）へのデータ保存とクラウドサービスへの同期です。最近のNASはクラウドサービスとの自動連携設定ができる物がいくつかあり、NASにデータを保存すれば自動的にクラウドに同期がかかるような仕組みづくりが可能です（下図は接続イメージ）。バックアップデータがクラウドにも保存され、医院に物理的な被害があったとしても、データは守られます。

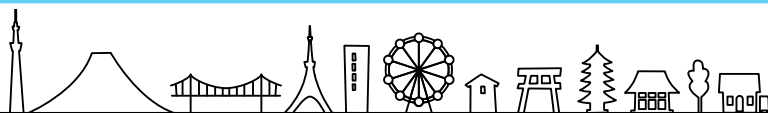
たとえば、私が最近の現場で採用しているQNAPというメーカーのNASは、「DropBox」「OneDrive」「GoogleDrive」というすでにみなさんが日常的に使っておられるであろうクラウドサービスとの連携が可能です。クラウドサービスは、ある程度の年会費が必要ではあるものの一時期と比べれば、格段に安価になり、採用しやすくなったといえるでしょう。

また、こういったバックアップシステムの構築には、それなりのスキルが必要なので、設定費用がかかるものの専門家に任せられた方が無難だと思います（弊社でも、NASの導入とクラウド連携の構築を承っておりますので、ご興味のある方はお声かけください）。またクラウド連携機能のNASも、ちょっと高性能のパソコン1台分ぐらいの費用はかかります。

長い目で見たときに、データに保険をかけたと思えば、必要な投資といえるのではないのでしょうか。



受付中



ワンデーセミナーとは
1日で理解できる「ヘルスケア歯科診療」

TOKYOワンデー セミナー2024おらず

2024年5月19日(日) 10:00 ~

場所：日本歯科大学

東京キャンパス 141 講堂

【参加費】(昼食付)

会員歯科医師 10,000 円

会員その他 6,000 円

非会員歯科医師 13,000 円

非会員その他 9,000 円

研修医 2,000 円

学校関係者(教員・学生) 無料・要登録

【定員】100名



※お申し込みはホームページ、または QR コードから

マー君の

enjoy my life

2020年2月末(65歳)で
開業38年目の河野歯科を
廃業して、毎日が日曜日の
生活を過ごしています。
なかなかいいもんですよ。

by 河野正清



Vol.11

ベトナムでオーバーステイ，犯罪者になった

知人に誘われて2023年8月10日から1ヵ月ベトナムで遊んできました。航空券とe-visaは知人が手配してくれてe-mailで受け取りましたが、日程については伝えてあったので間違いはないだろうと思い込んでしまい確認していませんでした。9月9日の帰国日の朝、パスポートを部屋のセーフティーボックスから取り出して何気なく確認すると、「え！え！え～、昨日でvisaが切れている！」「今現在オーバーステイの不法滞在者になっている！」「ヤバイ！ヤバイ！」気がついてはみたものの、今更できることは何もないのでそのまま空港に向かいま

した。

空港のチェックインカウンターでパスポートを提示すると、すぐさまイミグレの奥にある別室に連行されました。怒られたり、なぜなんだと聞かれたりすることもなく、穏やかに、事務的に罰金を払う必要があると言われました。「はい」と答える以外の選択肢はありません。ネットで調べたら1日あたり3,000円の罰金だとの記載がありましたが7,500円と言われて、思わず「高い！」と言ってしまいましたが、市場での買い物ではありませんので、当然値下げは叶いませんでした。不法滞在で立派な犯罪者となりました。不法滞在で立派な犯罪者となりましたが、お金でアッサリ解決できて帰国してきました。

帰国後ネットで検索すると、オーバーステイするとその後1年間は入国できないかもしれない、とのこと。1ヵ月半後に再来越する予定で航空券、宿を予約済でしたが、泣く泣くキャンセルとなりました（航空券は返金不可、トホホ）。逮捕されたりはしませんでした。罪を犯してしまったんだな、と実感させられています。

いつもは航空券やvisa、宿の予約は何回も確認するのですが、今回はなぜ確認しなかったのか？ 自分でも不思議です。今後はこれを教訓にして必ず確認するようにします。みなさんも気をつけてくださいね。

Vol.12

クアラルンプールでスリ被害に！

2023年12月18日から28日まで1人で、その後友人と合流して2人で31日までクアラルンプールに滞在しました。クアラルンプールは3回目です。要領が分かっていたので、気ままに過ごしていました。



こんなクリスマスツリーを見たくて出かけたら...

4日目の21日、朝食後12時前にチャイナタウンにある宿を出て、日本でいえば銀座にあたるブキピタンを訪れてフラフラと雰囲気を楽しんで、そろそろ帰るかなと思って財布を探ると、ない！ 数回、身体中を探りましたが、ないものはない。あちゃ～、なくした、最悪だ。人生で初めて財布を紛失しました。まずは宿に帰ろうと思いましたが、お金とICカードは財布の中だったので電車には乗れない。幸いなことにiPhoneは持っていたので、Google Mapsで道を探して小一時間歩いて帰って来られました。遠い所じゃなくてよかった。iPhoneなしでは帰って来るのに相当の時間と困難を要したでしょう。

財布の中にカードが2枚入っていたので、宿に14時30分に帰ってからすぐにクレジットカード会社に国際電話しました。すると、すでに10件ほど約7万円の請求がこの30分でありましたとのこと。えっ、超ビックリ、犯罪組織やること早すぎ！ すぐにカード無効にして調

査しますとのこと、よかった。もう1枚はWISEというデビットカードでしたが、こちらもすでに3件1万6千円余が引き出されていました。すぐに預金残額を自分の口座に送金してこれ以上の被害を止めました。カード不正利用に対してはある程度の防止策があると思っていましたが、犯罪組織の手にカードが渡ってしまうと、こんなにも早く容易く不正利用されてしまう事実本当にビックリしました。

最初はどこかで落としたと思っていましたが、たまたま拾った個人ができる技ではないので、高度な技術を持つ犯罪組織と連携したスリ師にさらされたのではないかと推測しています。財布の紛失はごく稀ですがその後の対処が重要だと認識しましたので、みなさんもそんなときは迅速に対処してくださいね。

旅の様子は毎日ブログ作成していますので、QRコードからぜひ覗きにきてくださいね。





動画で POINT とうでしやう (1)



この企画は、日々の診療のなかでちょっと確認したいテクニックや認定歯科衛生士を目指すうえでの検定のチェックに入る項目などを「動画」で解説してしまおうというコーナーの再来です(初回はニュースレター Vol.25 no.1)。

エックができます。ぜひ活用してください！
また、「こんな内容が知りたい!」「こういうときどうしたらいい?」などリクエストも受け付けます。どしどしご意見ください。みんなでいいもの作っちゃいませよ!!

ちょっとした時間に、QRコードを読み取ってポイントチ

(山田美穂 太陽歯科衛生士専門学校)

第1回【プロービング】

幾度となくとりあげられてきているテーマですが、検定で手こずるのもこれですよね。改めて、基本テクニックについて確認したいと思います。歯周組織検査を行ううえで大切なのは「正しい方法で行う」ことです。

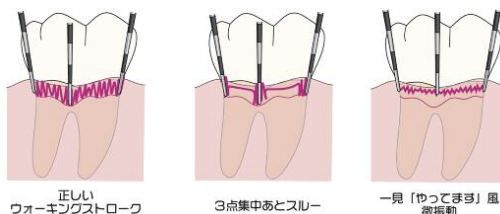
正しい方法とは、

- ・プロービング圧 (15~25g : 20g 以下ぐらいを目安にするとよいでしょう)
- ・ストローク (細かくメリハリのあるウォーキングストローク)
- ・根面に対する挿入角度 (角度が違えば数値がまったく変わってきます)

今回の動画解説は「ストローク POINT」「根面に沿わせる POINT」「最後臼歯遠心の挿入 POINT」の3つです。

1. ストローク POINT

正しいウォーキングストロークって意外に意識しないと難しいかもしれません。よく見る「残念パターン」と見比べてみてください。



2. 根面に沿わせる POINT

挿入角度が違っていると数値にズレが生じます。

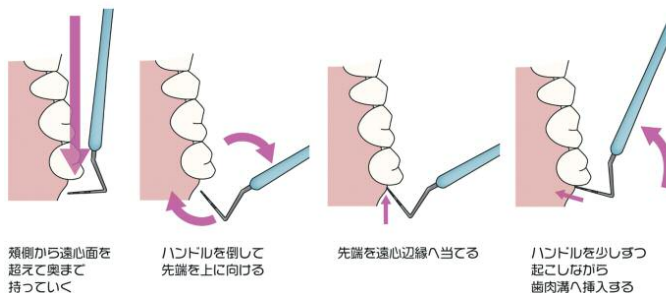
コンタクト直下 (col) などの意識も大切です。歯根の形態をきちんと把握することと、ミラー視によって角度の感覚が変わることがあるので「ミラーと友達」になりましょう。

ポジションによっても見え方が違ったりします。「正しい角度」を確認してみてください。



3. 最後臼歯遠心の挿入 POINT

最後臼歯の遠心は「入っているつもり」で済まされてしまっていることも多いような気がします。「正しい」検査を意識して確実に行えるようにしましょう。ちょっとした意識でスムーズに行えるようになると思います。



動画も活用しつつ、ぜひ院内でのキャリブレーションもしてみてくださいね!

Web セミナー

2024年3月20日(水祝)・4月17日(水)・5月15日(水)
各回 20:00 ~

パネリスト: 渡辺 勝

コミュニケーションセミナー: プレミーティング in オンライン

対象: 歯科医療従事者ならどなたでも

参加費: 無料・要登録

定員: 100名

新オンラインサロン (無料・登録不要) 毎月第2火曜日

2024年3月12日(火)

K-wave の魅力と活動を紹介します

2024年4月9日(火)

チェアを増やすにあたり、診療の質を落とさずにやり切るための工夫 ③ ヘルスケア診療とマーケティングについて

2024年5月14日(火)

未定

ウェビナー告知板

れることができているか（お通し率）や診察が終わってから10分以内に会計を終わらせることができているか（お会計率）などのデータも集め、継続的な観察から客観的な対策ができるようにしている。

3. PDCA サイクルを回そう

Plan（計画）、Do（実行）、Check（測定・評価）、Action（対策・改善）を繰り返すことでマネジメントの品質を高める。ゆいとびあ歯科医院では、ミーティングを通じて定期的な改善提案をスタッフに提出してもらい、全員でPDCAサイクルを回し続けることを心掛けている。

4. 効率化のために

保育士や管理栄養士を雇用することで歯科医院の未来につな

がる専門職の雇用や、職業体験や独自の奨学金制度などでやりたいことができるようになる器作りを進めている。決してすぐに結果ができる取り組みではないが、「未来のための種まき」という姿勢は、ヘルスケアの考えに近いものと感じた。

いつもニコニコされている藤本さんも、ときとして院内マネジメントで悩み、イライラすることもあるそうで、そのような時には手洗いをして心を落ち着かせているらしい。質疑応答では、発表のスライドには書けない院内マネジメントの実態を話していただいた。

次回4月9日の、各論その3「予防を伝えるマーケティング」が楽しみになってきた。

（報告：古市貴暢・医療法人社団明恵会 古市歯科医院）



ヘルスケア フォーラム

歯科衛生士育成基礎コース

2023年11月19日（日） 太陽歯科衛生士専門学校

参加して

午前 歯周病検査の相互実習

- ・清潔不潔を意識して素手で撮影を行う
- ・必ず撮影する前にエアーをかける
- ・自分の腰に負担の少ない姿勢で撮影する
- ・必要な場合はサクションも行う

午後 シャープニング実習

- ・11/12, 13/14を新品のものからエッジの確認を行う
- ・ハンドルの種類によってテストスティックの音は変わる
- ・テストスティックの音を必ず聴く
- ・振り子のようにハンドルを動かしてテストスティックに当てる
- ・ピースサインくらいストーンとスクレーラーは角度をつけて行う

・3：6：1（かかと：中央：先端）の比率でシャープニングを行う

今回の実習を通して口腔内写真が以前より撮影しやすく、シャッターを切るまでの時間が短くなりました。

実習後に、臨床での口腔内写真を撮影した際にも撮影時間が短くなり、舌や頬粘膜の排除を患者さんへの負担を少なく行えているよう思います。

今までは、何枚か撮影していた側方も一枚のみで綺麗に撮影できたりと実習で学んだことを患者さんへ生かしているように実感しました。

シャープニング実習では、自分がすでに研いだスクレーラーと新品のエッジの違い

を再確認しました。普段の診療で使用しているものなので、今一度、学んだとおりにテストスティックをきちんと活用し、シャープニングを行い患者さんへの負担を少なく処置を行いたいと感じました。

今回の実習で手技がまだまだだと痛感しました。すこしでも患者さんの口腔内をよりよく、健康にできるよう励みたいと思います。

吉尾瑞季（歯科衛生士・医療法人真摯会 高槻クローバー歯科・矯正歯科）



第5期 実践セミナー

2024年1月28日(日) AP新橋 & Zoom



報告 最終回(8回目)



西村 誠 (泉大津市開業)

第5期実践セミナーの最終回が1月28日にAP新橋にて開催されました。当日はオンラインでコアメンバーの視聴参加もあり、ハイブリット開催になりました。

受講生の成果発表では、半年間とは思えないほどの波乱万丈を乗り越えられた方や、新しい取り組みを着実に進み歩ん

でいる方の発表を聞いて、サポートのメンバーや講師陣も身が引き締まる思いでした。

また、医院継承をされている方も多く、親からの継承、義理の親からの継承、勤務先の継承を予定していたり、継承とは少し違いますが分院長を任される予定の方などさまざまなかたちがありました。

ヘルスケアミーティング2022のテーマでもあった“つなぐ”という点でも、一度自分の臨床だけでなく診療所の状況を落ち着いて見直すことが、継承の役に立

つのだと発表をみて感じられました。ヘルスケア歯科診療の良いところは、その振り返りときの解像度がデータや記録によって高められるという点にあるとも思いました。

私は今期から実践セミナーの運営側になりましたが、受講生だけでなくサポートの我々にとっても、学びの機会となりました。参加のみなさま、半年間お疲れさまでした。

参加者感想

講師やサポーターの方々がとにかく親身になってくださるので、何でも質問することができるセミナーでした。また、学術的なことだけでなく、スタッフ教育など医院運営のことまで幅広く学ぶことができたこと、ヘルスケア診療をやっていく仲間ができたことは財産になりました。半年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。(岸 敦司)

お疲れ様でした。このセミナーを受けて本当によかったと思います。最終回の受講者発表では、リーダーシップを発揮してヘルスケアを推進していく姿には非常に感銘を受けました。自分は来年に開業となりますが、歯の健康を守るようヘルスケア診療を邁進していきたいと思います。(赤井康祐)

ヘルスケア診療の導入では、いろいろなトラブルがありましたが、講師やサポートの方々やともに学ぶ同期生のおかげで、一歩ずつ前に進めていると思います。今後も、医院のみんなでの日々の取り組みが未来につながると信じて頑張っていこうと思います。(吉田幸司)

ヘルスケア歯科診療の奥深さがよく知れた気がします。

これからもヘルスケア歯科診療を継続し、向上していくためのモチベーションを手に入れることができました。ありがとうございました。(三友啓介)

実践セミナーを経て、さまざまな方のお話を聞いて、ヘルスケア診療にもいろいろなかたちがあるのだとわかりました。ヘルスケア診療は歯科診療の基盤となるもので、医院のかたちに合わせて自分たちで作っていくのだと理解することができました。(名雪卓郎)

参加しようか迷っていましたが、本当に参加してよかったです。自分の医院が何ができていて何が足りないのか、いろいろな角度で考えることができました。また、セミナーをきっかけに他の方との繋がりができ、プライベートセミナーの講師を紹介していただいたり、困っていることを個別に相談させてもらったりということもありました。Webと対面のバランスも良かったと思います。ありがとうございました。(高橋英敬)

元々ヘルスケア診療している医院に入られて、自分をもっと成長させようと頑張っておられる方や、一からヘルスケア診療をスタッフとともに頑張っておられる方とご一緒させていただき、とても刺激を受けました。サポーターの方々にも書籍では知り得なかったなことを包み隠さず教えていただき感謝です。自分でもどこまで実践できるかわかりませんが、あせらず少しずつ進めていければと思います。(青木陽一)



学会公認団体
K-wave 活動報告



みなさんこんにちは、『K-wave』は活動しているのか？ というお声がありましたので、これはちゃんと活動報告をせねばという次第で投稿させていただきます。

昨年11月29日にはK-wave basicの第31回例会にて坪川正樹さんに発表を、梶富由佳子さんに講演をいただき29名（振り返り含む）の方にお集まりいただきました。

12月18日にはK-wave advanceの第5回例会にて澤幡佳孝さん、楠雅博さんに発表を、藤木省三さんにミニセミナー、杉山精一さんに講評をしていただくなど

盛りだくさんの会になり、参加者も52名（振り返り含む）と多くの方と一緒に学ばせていただきました。

また、K-waveでは経験が浅い歯科衛生士さん向けにエントリーコースという全3回の実習セミナーを開催しており、第2期の一回目が12月21日に開催され大西歯科の野村朱美さんを講師に基本的なところから6名の受講生と実習を行いました。

さらにその上のミドルコースのプレセミナーも今年1月18日に行いました。ミドルコースでは大西歯科でのSRPの

テクニックをUP-SRPテクニックと名付け、このUP-SRPテクニックが学べます、こちらも野村さんを講師に3名の歯科衛生士が実習を行いました。

このように、意外と忙しく活動しているK-waveですよ、と報告させていただきます。そしていつも一緒に勉強させていただいているみなさま、ありがとうございます。

K-wave basic 例会は2月21日。次回のK-wave advance 例会は3月25日になります。アーカイブ配信ありのWebですのでお気軽にご参加ください。

(西村 誠 泉大津市開業)



※ K-wave basic : 認証診療所を目指す歯科医院のドクター向けの例会
 K-wave advance : 認証取得後、さらに学びを深めるための例会



ヘルスケア歯科診療だからこそ必要な
**コミュニケーションセミナー
 プレミーティングⁱⁿオンライン**

受付中

2024年3月20日、4月17日 毎月第3水曜日 20:00 ~ Zoom ミーティング
 対象：歯科医療従事者ならどなたでも 定員：100名 参加費：無料・要登録



2023年8月に開催された渡辺 勝の「ヘルスケア歯科診療に必要なコミュニケーションセミナー」を、好評につき2024年9月23日（日）に開催します。このセミナーは、ロールプレイを中心にした参加型セミナーですが、どんなものか興味のある方のためにオンラインでプレミーティングを開催します。

ヘルスケア歯科診療や、チームビルディングに必要なコミュニケーションのtipsを渡辺 勝がわかりやすくレクチャーします。各回はテーマを変えた独立したものになりますので、ご興味のある回のみ参加も可能です。ブレイクアウトルーム（少人数の班分け）を利用しますので、顔出しでの参加を推奨しています。



2020年度に定款が改定され「終身会員制度」の新設に併せて、正会員歴20年以上かつ70歳以上の方を「永年会員」として表彰しています。

今回は2023年12月31日までに対象の年齢となられた方の表彰をいたします。永きに亘り当学会の活動に貢献されてきたことに感謝し、学会として記念賞状と記念品をお送りいたします。

これからも当学会の活動にご支援・ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げます。

入会年	氏名	勤務先名	所在地
1998	大野秀夫	医療法人 おおの小児矯正歯科	下関市
1998	秋月照彦	アーク歯科医院 虎の門	東京都港区
1998	鈴木武久	医)仁鈴会 祥南歯科医院	安城市
1998	岡 恒雄	倉敷医療生活協同組合 玉島歯科診療所	倉敷市
1999	斉藤善司(終身会員)	斉藤歯科医院	川崎市
2004	有馬昌良	有馬歯科クリニック	茨木市
2004	府川美佐子	医療法人 鈴木歯科医院	蓮田市

※この内容は、2024年2月1日の会員登録情報を元に作成しています。生年月日が不明な方は掲載されておりません。また情報の間違いにお気づきの方は、事務局までお知らせください。

2023年度 会員数 歯科医師：623名 歯科衛生士：352名 歯科技工士：2名 その他：41名 計1018名

Healthcare bibliography

ヘルスケア歯科学会会員の
執筆掲載雑誌・書籍を報告!

報告：大井孝友

雑誌掲載

大切な歯、どうしても抜くほうがいいときがあります

泉 英之

nico 12月号 p.8-22 クインテッセンス出版

ゼロからわかる むし歯の予防&治療

伊藤 中他

File 6 初期むし歯の治療

nico 12月号 p.24-27 クインテッセンス出版

File 7 むし歯になりやすい人、なりにくい人

nico 2024年1月号 p.23-26 クインテッセンス出版

File 8 唾液の恩恵とむし歯予防

nico 2月号 p.23-26 クインテッセンス出版

前歯が突然落ちてきた。私に笑顔が戻るまで

高橋 啓 (ペンネーム：坂本慎太郎)

最終話 「落ちた前歯」がくれた出会い

nico 12月号 p.47-49 クインテッセンス出版

「お気をつけて、ご来院を」～歯医者さんの受付日誌～

高橋 啓 (ペンネーム：坂本慎太郎)

第1回 みつけた! 私にあった歯医者さん

nico 2024年1月号 p.45-47 クインテッセンス出版

第2回 要介護状態になる前からできること

nico 2月号 p.47-49 クインテッセンス出版

予防の常識・非常識

藤木省三

nico 12月号, 2024年1月号, 2月号 p.60-61

クインテッセンス出版

あるあるトークでふりかえる DH 臨床のエラー

落合真理子 他

①深い歯周ポケットを見落とした

歯科衛生士1月号 p.48-51 クインテッセンス出版

②歯石除去が難しい

歯科衛生士2月号 p.50-54 クインテッセンス出版

新春特別座談会 今こそ、歯周基本治療を見直してみませんか?

奥山洋実 他

歯科衛生士1月号 p.52-59 クインテッセンス出版

先輩の話、聞いてみない? ちりつもダイアログ

高須純子

歯科衛生士2月号 p.27 クインテッセンス出版

海外ジャーナル Watching

早期小児う蝕を発症させる要因は?

寺岡徳光

デンタルダイヤモンド1月号 p.95 デンタルダイヤモンド社

〇〇で悩む先生に伝えたい自由診療の幸福論

歯科診療哲学「バンキーフィロソフィー」

高山祐輔

デンタルダイヤモンド1月号 p.112-114 デンタルダイヤモンド社

禁煙支援のネタ帳④

歯科衛生士学校における禁煙支援教育

山田美穂

DHstyle 12月号 p.92-93 デンタルダイヤモンド社

魂のハイジーンワーク

あなたも、「口腔の健康を守る歯科衛生士」になってください

奥山洋実

DHstyle 12月号 p.94-95 デンタルダイヤモンド社

DH Talk 会いたかったあの人に会いに行く!

落合真理子 他

デンタルハイジーン1月号 p.14-15 医歯薬出版

リニューアル特別座談会

徹底討論! 歯科衛生士臨床の明日はどっちだ?

Round 1 齶蝕予防の明日を語ろう!

田村 恵他

デンタルハイジーン1月号 p.27-40 医歯薬出版

原著論文

全部鑄造冠、前装鑄造冠の生存時間に関する多機関共同後ろ向き研究

堀坂寧介、丸山和久、大井孝友、難波秀樹、山本修平

桃井保子 他

日本補綴歯科学会誌 16巻1号 p.49-57



歯科衛生士による歯科衛生士のための

ヘルスケア歯科衛生士新人初期研修 (2024年度)

2024年5月～6月 11:30～12:45 (予定) 75分 Zoom ミーティング

4/16 (火)
受付開始

対象：卒後間もない（新卒～数年以内）歯科衛生士

- 目的：1. 社会人としての基本的な心構えを学ぶ（新人初期研修）
2. ヘルスケア歯科衛生士のロールモデルを知る
3. ヘルスケア歯科診療に必要な知識・技術のステップアップについて知る

開催時間と開催時期：2024年5月21日（火）、6月4日（火）、6月19日（水）計3回
各回 11:30～12:45*（予定）75分間（毎回学習内容の確認＝自己採点をします）
*診療所責任者は、開催時間前後に余裕をもって新人研修の時間を確保してください

開催方法と参加費：オンライン（Zoom ミーティング）LIVE（アーカイブ配信はありません）
各75分3回 7,500円／1人



【カリキュラム】

第1回 新人初期研修（社会人としての心構えとロジカルシンキング）

講師：落合真理子

社会人として、とくに医療人として責任ある行動・言動が求められるようになります。挨拶をすることは、人にフレンドリーに暖かく接することはもちろんですが、さらに自分で考えること、自分の考えを話すことは、社会人としての必須のスキルです。そこで論理的思考法の入口に立つことを目標に簡単なワークをします。一般に企業研修などでは、ロジカルシンキングを身に着けるための研修に1～3日を費やしますが、本講座ではその入口に立つことを目標にします。

第2回 ヘルスケア歯科衛生士を知る

聞き手：落合真理子

語り手：田村 恵、奥山洋実、山田美穂、松下奈緒

数人の歯科衛生士に「私の歯科衛生士としての歩み」を語っていただきます。長く一つの診療所に勤め、多くの長期症例から学んでいる田村恵さんほか様々なロールモデルを知って、ライフステージの変化と歯科衛生士の両立、歯科衛生士としての喜び、やり甲斐、壁にぶつかったときの克服の経験に触れていただきます。



第3回 必要な知識・技術のステップアップ

講師：山田美穂、落合真理子

歯科衛生士学校で一通りの勉強はしました。一般の歯科診療所では、それ以上のことが求められます。しかしほんとうに患者さんのためになることができているでしょうか？ 医療面接、プロービング検査、口腔内写真撮影、カリエスリスクの診査と評価、キュレットのシャープニング、エックス線フィルムのセッティング、エックス線の読影、ディプラーキング、PMTC、そしてスケーリング・ルートプレーニング。そのいくつかをとりあげて、患者さんのためになるスキル、不快にしないスキル、自分のからだに無理をかけないスキルをどのように学んでいくか、そのステップアップの道筋を学びます。

☆研修修了者には、初期研修修了証（サーティフィケート）を発行します。



認定歯科衛生士 更新ポイントについて

「認定衛生士資格更新ポイント申告書 2023年」を対象の方に郵送いたしました。
認定歯科衛生士の更新に関しまして、コロナ禍措置として引き続き、2020年を含む場合は「5年で70ポイント」から「5年で50ポイント」となっております。
HCM2023の参加および有料のオンラインセミナーへの参加などでポイントが加算されます。
対象の方は3月末までにご提出ください。

メインテーマ

歯周基本治療からはじまるヘルスケア歯科診療

2024年10月13 - 14日（日・月祝）13日12:30～18:00 14日9:15～15:00（予定）

一橋大学一橋講堂 + 中会議室（東京都千代田区）・一部オンライン（Zoom ウェビナー）

企画趣旨 歯周病の治療とメンテナンスを確実にに行えるようになることはヘルスケア歯科診療には不可欠であり、避けて通れない道であると同時に、診療所にヘルスケア歯科診療を定着させる近道でもあります。本学会では診療のスタイルを1つのかたちに規定することを避け、多様性を受け入れてきましたが、基礎的な部分に関しては目標となるロールモデルが必要です。今回は、会の発足当時から繰り返しヘルスケア診療を発信し、

また自らも常に成長し続けている藤木省三さんの診療所、大西歯科で実践されている歯周治療を目標として学び、それをもとに今何をすべきかみんなで考えましょう。

ヘルスケア診療を知ったばかりで、どこから手をつければいいのかわからない人も、一度挫折して再チャレンジを躊躇している人も、頑張っ取り組んでいるのになぜか成果が出ない人も必ず答えやヒントが見つかるはずです。

● Day 1 歯周基本治療からはじまるヘルスケア歯科診療 12:30～18:00（予定）

趣旨説明：千草隆治

基調講演：藤木省三

X線撮影について：滝沢江太郎

口腔内規格写真：大本幸加

歯周組織検査：志摩裕美

歯周基本治療のポイント（ケースプレゼンテーション）：野村朱美

グループワーク

質疑応答・総括



● Day 2 あっちもこっちもヘルスケア 9:15～15:00（予定）

A会場	
午前	ヘルスケア きほんのき 高橋 啓, たかはし歯科スタッフ みんなの医院, みんなで医院づくり 斉藤 仁 ほか
午後	ヘルスケアとDX 中本知之, 安岡大介 ほか

B会場	
午前	ホームデンティスト・プロフェッショナル 番外編 岡 賢二, 藤木省三 ヘルスケア歯科衛生士から（症例発表を中心に） 未定
午後	UP-SRP（ヘルスケア型低侵襲 SRP）とは 藤木省三, 野村朱美

ヘルスケアミーティング 2024 ポスター発表 募集！

申込み締切：2024年7月31日

カテゴリー1 ペリオ症例発表

カテゴリー2 ヘルスケア歯科診療のことならなんでも（自院の取り組みや症例発表など）

演題について：発表申請方法

ポスター発表を予定する方は、件名を「HCM2024 ポスター発表」として事務局（center@healthcare.gr.jp）宛に、① 演題と② 発表者名をメールでご連絡ください。

筆頭発表者は会員に限ります。筆頭発表者名で申込みください。

その他

ポスター発表は、2日目の決まった時間に1名がポスター前に立ち、質疑応答の交流時間を設けます。発表者はなるべく会場にご参加ください。

ポスターサイズ、抄録について

サイズ：幅90×縦180cm以内（サイズご注意ください）

詳細については、決まり次第ご案内します。

認証ミーティング（第21回）

エントリー受付中！

2024年8月4日（日）開催地：未定

認証ミーティングは、認証診療所の実態が総括的に理解できる
またとないチャンスです

「健康を守り育てる診療所」
認証ミーティング

2024年エントリーは、3.31まで

認証診療所とはこの「健康を守り育てる歯科医療」を「それを望む患者さんすべてに対して」、「実践している診療所」です。
認証を希望する診療所は、年1回開催する認証ミーティングでプレゼンテーションを行います。歯科の外部審査員を含む審査で患者中心の診療所づくりを重視します。